

～子どもが泣くのは悪いことではない！だけど…～

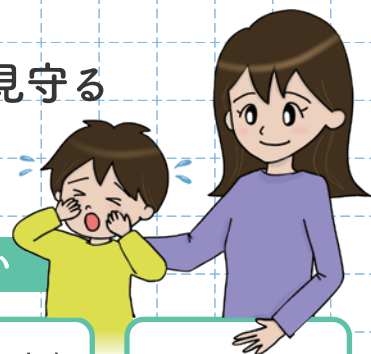


「ごはんを食べて欲しいのにおやつしか食べない子」に対して、どのような対応をしたら良いのか…。困る保護者や先生は多いと思います。今月号では、そういった場合の対応の要点をわかりやすく図解でお伝えします。

理想的な対応

- ✔ ルールを伝える
- ✔ 子どもの葛藤を見守る
- ✔ 不快な感情を認める
- ✔ 約束を守る

例：「おやつを食べたい」という欲求が激しい



「今日のおやつはこれでおしまいだよ」とルールを伝える

大人

「もっと食べたい！」と泣き叫ぶ

子ども

「おやつもっと食べたかったんだよね」と不快な感情を認める
「でも今日のおやつはこれだけだよ、また明日ね」とルールは変えない

大人

さらに強く泣き叫びながらも次第に現実を受け入れていく
↑この時間があることで不快な感情をコントロールする力が身につく

子ども

次の日におやつを出して約束を守る

大人

でも現実には…

泣かれるとイライラしてしまうので、ついお菓子を与えてしまう

偏食だからおやつくらいしか食べてくれないと感じている

すでに習慣化してしまい、今すぐに変えることが難しい

→ 最初から完璧を目指さないで、少しずつ変えていければOK！

「具体的にどのような考え方で、どう変えていけばいいの？」

その具体的な内容は、右下QRコードから解説記事を参照してください！

詳しい解説記事はこちら！

